

巖谷小波先生の 來郡を好機として

▽本社は揮毫會を催す
▽陸續ご御申込を乞ふ

巖谷小波先生が本郡教育會の招聘に應じ各處に講演の爲め本月下旬頃來郡さるゝを好機とし本社は平町兒童をして親しく先生の和伽噺に愉悅を感じせしめんことを加講演會を開催する費用に當てる爲め風雅なる畫に配するに先生一流の俳句を以つてせる揮毫を乞ふて是れを左記の如く一般に頒布する事になりました、何卒各位に於かれては平町兒童娛樂の爲めに貢獻せんとする本社の微衷を諒せらるゝと同時に既に定評ある先生の芳墨を永遠に傳へんが爲め此舉を賛せられて陸續ご御申込みの程を願ひ上げます

- 半切畫賛 十圓
 - 同句のみ 五圓
 - 絹畫賛 十五圓
 - 同句のみ 七圓五錢
- 色紙、短冊、雅帳、扇面等は右の半額
注意 豫定數に達すれば
直ちに締切ります

平町長橋町廿五番地
申込所 常磐毎日新聞社

一冊の代金で
御希望通りの
五冊の雑誌が
自由に讀める
平町長橋町三五
川崎回文庫
(市込次第規則書進呈)

渡邊藥局
平町三丁目
渡邊政五郎
(郵便局向)



刊夕日十月一

發行兼編輯人 川崎文治
印刷所 常磐毎日新聞社

丑年宣言

- 一、生物ヲ保育シテ自然スルナキハ天道ノ極意デアラル
- 一、盛ニ蕃殖スル種族ハ幸福寔ニ至ラテアル
- 一、人類ニ運命ヲ委スルノ牛族ハ益々蕃殖シテ止マナイ
- 一、巧ニ牛ヲ利用スル人種モ亦倍々繁榮スル
- 一、來タル牛族
- 一、來ツテ人類ト共存共榮ノ實ヲ擧ケヨ

電話三二二三番

眞に是れ鬼に金棒!

耐火耐震耐久力の絶大なる
日本コンクリート鐵網
拔群優秀なる斯界の權威
磐城セメントを推奨す
最も經濟的に然も超越せる無比の良材
(施工説明書を進呈致します)

和洋銅鐵
金物問屋
久釜屋商店
電話九番、一三九番

員店集

てま才七十りよ才四十

眞面目な御人を養成仕るべく
萬事家族的の待遇に候へば御
希望の向きに依り
御本人の給料、積立、に
付さる御面談申上度く是非
御申込み願上候

平町鍛冶町(電話二二二番)
吉田屋吳服店
吉田由三郎

株式賣買中値 電話に金融

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五三、五
平銀行	五〇〇	六八、〇
磐越銀行	一一、五	一〇、五
磐城實業	五〇〇	四二、〇
磐城實新	三〇〇	二八、〇
田村實銀	一一、五	一一、五
四倉銀行	一七、五	一七、五
農工銀行	二〇〇	二五、〇
同新	一五、〇	一九、〇
百七銀行	五〇〇	五二、五
同新	一一、五	一四、五
七七銀行	一一、五	九、八
郡山電氣	五〇〇	四七、〇
同新	二五、〇	二二、五
只見川電	一一、五	七、五
植田水電	一一、五	一五、五
好問水電	一一、五	一三、五
磐城製菓	一一、五	一六、〇
磐城製菓	二〇〇	二〇、〇
平信託	五〇〇	二〇、〇
磐城勸業	一一、五	一三、五
植田物産	三〇〇	二六、〇
平製氷	二五〇	一八、〇
好問軌道	五〇〇	二五、〇
入山新	三二、五	一七、〇
小田炭礦	二五、〇	七、〇
磐城炭礦	五〇〇	四一、〇
同新	二二、五	一八、〇
磐城セメント	五〇〇	六五、〇
同新	三三、〇	四四、〇
平運送	一一、五	八、〇

平町田町 電話三三三番
丸登式株店
川添房二郎

金色夜叉のモデル 巖谷小波

巖谷先生は別所所載の如く本月下旬頃來郡さるる筈であるが世間も知る如く金色夜叉の貫一は先生をモデルにしたものとい傳られて居る、本文は右に關して先生が數年前に雑誌に發表された興味ある告白文である

「金色夜叉のモデルは君ださうだね」「貫一はほんとうに貴君なのですか。」とは此頃になつて屢々僕の浴びせられる問である。己にかうまで浮名の立つた以上、なまじ僕が遠慮して居ると、自分許りなら可いが延いて他の關係者にも迷惑

が及ぼす。之が僕としては甚だ心苦しい事でもあるので、僕はいよいよ思ひ切つて、我と我事を告白することにする。告白流行の世の中だから、僕も流行にかぶれたなどと、思はれるのも更に迷惑だが、此場合もう仕方が無い。

一體こんな問題が、何時何所から起つて來るのだから。肝腎の作者紅葉君は此世を去つて己に十餘年に成るのに、漸く近年になつてかうした穿鑿が人の口端に上るのも、考へて見ると不思議な話だ。

實に、モデルの主人公たる僕さへ、紅葉君の生前には少しもそれには氣が付かなかつた。無論君自身からそんな事を聞いた事もなければ、他から注意をうけた事も無く、あの長篇が讀賣に連載されて居た當時は他の幾萬の讀者と共に僕も毎朝之を待ち兼ねた一人で全く餘所事として愛讀して居たのだ。然るに紅葉君は死んでしまひ、その全集は版を重ね又脚本金色夜叉は諸方の舞臺に登場されるに及んで誰云ふとなくあれは巖谷小波の事を書いたものでお宮は誰、富山は彼、荒尾は某滿枝は某と知つた風の噂する聲がちよいち僕の耳に入つて來る。(つづく)

お伽のおぢさん

巖谷小波先生來る

多分舊正月頃に

平町や植田で趣味ある講演 巖谷小波先生は十年前一度來平されて通俗教育講演會及び磐城中等學校、磐城高等女學校、第一第二兩小學校其他にて講演を試みられた事があるが今度再び水野

郡長の懇請を容れ

て本月下旬頃來平される事となり郡教育會主催の平町或ひは植田町通俗講演會にて縦横の辯を揮はれ且つ平町青年團主催の徒弟慰安會にも一場の講演を爲す等である。先生は彼の金色夜叉で有名な尾崎紅葉山人等と共に硯有社一派の重鎮として明治

文壇史

を飾る一人である事は人も既に知る所

貯炭は山と積まれ

鳴りを鎮めた需要先

採掘に努力したが水のあわ

磐炭は役員誠首

大震災後後連綿的不況を歎ちたる常磐炭礦界は需要最盛期に入りば多少景氣を挽回し得るであらうとの見込みで奮勵以來一肌脱いて坑夫を

鞭達し

採掘に努力しつゝ、あつたが需要先は依然鳴りを鎮めて買受人更につかないで日々の採掘炭の約二分の一は徒らに貯炭

常磐片々

五十餘圓の滞納で市會議長の椅子を取り上げられた男がある、餘程の横着者らしい

平町の滞納者は二流所の富豪に多いと

市會議長じやないから等とタカをくゞられては町民は迷惑

そんな男は税金のかからぬアノ世へでも住み替へたがよい

川前諸般協議 石城郡川前村にては八日午後十

高久組合認可 石城郡高久村大和田連吉外百九十三名。設立に際して有限責任高久信用購買組合にては客年許可申請中の處八日附にて本縣知事から許可された

玄米相場

石城穀物検査所の調べに依る

神棚に向つて貯金

大原君の獻金方法

大瀧發電所許可反對同盟會長として其名を知られた大原長太郎君が縣社子鐵倉神社新築寄附金の成程と背ける献金方法を案出されたが

一般に

も籠とするに足るでんがあるから茲に紹介する、ソレは毎朝神棚に向つて國家泰平、家内安全を祈念する時賽銭として一錢乃至十錢を献げ一定の小箱に納めて置くのである

費消せ

す縣社寄附金の當てるのである「貯金」の方法を借り別段一家經濟の上にも苦しみと與へない



ビビの薬

お寒むくりますと普通そんなにあらぬ方でも、ビビが切れます。ビビにはゆづの實などが實に適當です

再び夏季に際し紛糾するを虞れ目下野村郡農技師は新妻草野村長と解決點を見出すべく精査中であると

被害民移轉

村内公有林へ

石城郡神谷村では同村内地すべり被害地として附近の公有林の一部を被害者に特賣すべく村會で決議し縣に申請中の處認可されたので被害民はこの程該土地に移轉したと

古稀の祝ひ

懇親者に瓶子

平町長伊坂員正氏は安政二年八月満七十歳に達したので近く古稀祝ひの記念として九谷焼の瓶子を調製して年來の知友に贈る筈である

感情の衝突

草野村の問題

石城郡草野村の赤沼六十枚兩區民は昨年早魃の際灌漑毎晩寝すむ前、又はお湯に入つた後に、袋つつ外して掌の上で絞つてなすりつけ

十錢以上貯蓄の決議

下桶賣にて

石城郡川前村大字下桶賣にては消費節約實行の目的にて九日から十錢以上宛貯蓄する事を決議したが加入者は四十名であると

耳の鬼

安い議長の子

徳島市會議長橋本菊太郎は五十八圓四錢の税金滞納があつた爲め八日突然徴税吏に滞納處分され公民権を失

募集

文藝其他投稿

を募集します

用水に就て紛糾を醸し六十枚區民は數回互り郡當局に陳情したこれは感情の疎隔、基くものであつて本年